



10月17日は
貯蓄の日

お金の知識を あなたの力に

「お金」は、私たちの日常生活に欠かせない大切なものです。だからこそ、正しい知識を基に、活用したいもの。そこで必要となる「金融リテラシー（お金の知識・判断力）」や、お金との上手な付き合い方について、山形県金融広報委員会副会長で日本銀行山形事務所長の川村憲章さんに伺いました。

お金との付き合い方は 必要不可欠な生活スキル



山形県金融広報委員会副会長
日本銀行山形事務所 所長

川村 憲章氏

「お金の学びに」「大きな変化があった」といわれます。

昨年、金融経済教育推進機構（J-FLEC・ジェイ・フレック）が設立され、お金を学ぶ場が整備されました。J-FLECは、国民一人一人が、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現できるよう、全国で広く「学びの場づくり」に取り組む組織です。法律に基づいて設立された中立・公正な認可法人が提供するプログラムで、金融商品を勧められる心配もなく、安心して学ぶことができます。

講師を無料派遣 セミナーも無料

「お金について、どのように学ぶのですか？」

企業や学校等では「お金について学びたい」といったニーズがあり、原則10人以上などの要件を満たせば、J-FLECに無料で講師派遣を依頼できます。例えば、中高生向けに「大人になる前に知っておきたいお金の話」、若手社会人向けに「社会人として知っておきたいお金の話」、ベテラン社会人向けに「リタイア前後に知っておきたいお金の話」といったテーマで話をしてもらうことができます。

個人単位でも、生活設計や資産形成等について、J-FLEC認定アドバイザーに無料で相談することができます。山形県では、バックンマクン、FPの庄司晃子さんをお招きして、11月3日（月・祝）13時から「くらしとおかね講演会」を山形テルサで開催します（事前申込制）。こうしたイベントに参加することも金融リテラシーの向上につながります。

**くらしとおかね
講演会**
11/3(月・祝)開催
10/28(火)
申し込み締め切り
事前申し込みはこちら↓

知識は東北首位 トラブルが多発

「山形県民の金融リテラシーはいかがですか。」

「金融リテラシー調査2022年」によれば、山形県の金融知識・判断力に関する正誤問題の正答率は東北地方トップ（全国14位）でした。気になるのは金融トラブルの多さです。金融トラブルの経験者の割合は11・9%と全国で最も高い状況でした。金融取引の基本を習得し、だまされないようにすることが重要です。

お金を学んで 豊かな人生を

「貯蓄の日」に当たり、山形県民にメッセージを。

私たちは生きていくために、日々お金を使っています。他方、お金のことは大事と思っけていても具体的な行動を起こしている人はあまり多くないのではないのでしょうか。

中立公正なJ-FLECの講師を招いて、あるいはセミナーや個別相談に参加して、お金について学んでみませんか。講師派遣のお申し込み、J-FLEC認定アドバイザーへの無料相談・応募、J-FLECの詳細については、公式ウェブサイトをご覧ください。

J-FLEC
公式ウェブサイト

①講師派遣
②セミナー
③個別相談、等

全て無料

広告